

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ
Network
Now
JART情報
<https://www.jart.jp>
2023 No.569
5/1
発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第75回診療放射線技師 国家試験問題の分析結果

診療放射線技師国家試験問題評価委員会は、2023年2月16日(木)に実施された第75回診療放射線技師国家試験(以下、本試験)を評価することを目的として、委員会会議を2023年2月24日(金)に開催しました。本試験が診療放射線技師の基本的知識を適切に判断する内容であるかを検討し、その結果を踏まえて、本会から答申書を厚生労働省医政局医事課試験免許室に提出しました。

なお、厚生労働省のホームページによると、本試験の合格者は受験者数3,224人に対し合格者2,805人で、合格率は87.0%でした。

診療放射線技師国家試験問題評価委員会 構成員(順不同)

○武藤 裕衣、丸山 智之、木暮 陽介、鈴木 正広、奥田 圭二、西澤 徹

以下に検討結果を示します。

1. 総評

本試験は、多くの至適問題が見受けられ一定の評価を認める。また本試験は、例年と同様により深い知識が必要であり、良い傾向と考える。

診療放射線技師の業務範囲は拡大されており、本試験の200の問題数では、95単位のカリキュラム修得を効果的に判断することは難しいと考えるため、問題数を増やすことが必要と考える。

2. 今後のより良い診療放射線技師国家試験のための提案

○診療放射線技師を取り巻く状況の変化および実態を踏まえ、診療放射線技師として必要な基本的な事項から出題することに、引き続き留意する必要があると考える。

○「診療画像技術学」の「X線撮影技術」は、多くの診療放射線技師が単純X線撮影、ポータブル撮影、マンモグラフィ、骨塩定量検査、X線TV検査、血管造影検査、X線CT検査に従事しているにもかかわらず、「診療画像検査」のMRI検査、超音波検査、眼底カメラ検査に比べ、構成上出題数のバランスが取れていないと考える。

○昨今の診断用医療機器の進歩を勘案すると、「画像工学」や「医用工学」など専門基礎系分野の出題数を抑え、「X線撮影機器」ならびに「診療画像機器」の出題数を増やす必要があると考える。

○診療放射線技師の業務において、実際の臨床現場を設定した設問の出題、STAT画像報告などの出題が必要であると考える。

○現状の診療放射線技師の業務などを診療放射線技師国家試験の問題に反映しやすくするため、構成する試験委員について、診療放射線技師の資格を有した試験委員の増員が必要と考える。

3. 本試験に関する評価

○午前93 1、3、5の複数解と考える。

○午前94 2、3、4、5の複数解と考える。

4. その他の事項について

○第73回および第74回の合格発表時に採点ミスが判明した。その後、適切な措置により受験者への配慮がなされたことは高く評価できる。しかしながら、国家試験の合否については受験者への影響が多いため、慎重かつ厳格に判定をお願いしたい。

(診療放射線技師国家試験問題評価委員会 委員長 武藤 裕衣)

2022年度 第2回JART-JSRT懇談会 開催される (ハイブリッド開催)

2023年3月1日(水)午後2時より、2022年度第2回JART-JSRT懇談会がハイブリッド会議で開催されました。

この懇談会は年に2回、JARTとJSRT(日本放射線技術学会)が事業連携についての協議や情報共有を目的に開催しています。現地出席者は本会事務局のある三田国際ビル地下会議室に集まったの会議となりました。JSRTからの出席者は白石順二代表理事、梁川範幸副代表理事、市田隆雄副代表理事、田中利恵業務執行理事、柳田智業務執行理事、岩永秀幸業務執行理事、錦成郎事務局長が、JARTからは上田克彦会長、児玉直樹副会長、江藤芳浩副会長〔Web出席〕、江端清和業務執行理事、川守田龍理事、菊地克彦理事、上島隆事務局長が出席し、両会代表のあいさつから始まり、懇談会は和やかに進められました。

本会からの報告事項として、第38回日本診療放射線技師学術大会状況報告とお礼、次回開催の第39回日本診療放射線技師学術大会へのご協力をお願いについて、また次回学術大会より新たに設けられる発表に際しての研究倫理対応についての進捗などが報告されました。引き続きJSRTからは、第79回総会学術大会の進捗状況報告、第50回秋季学術大会の開催報告、第51回秋季学術大会の概要報告、2023年度JSRT-JART合同市民公開講座の開催内容について、2023・2024年度のJSRT新体制(予定)についてなどの報告がなされました。共通の報告事項として、2024年開催の第1回目



本放射線医療技術学術大会(Japanese Congress of Radiological Technology in Medicine(JCRTM))の進捗状況について報告がありました。

また議題としては、共通のものとしてJCRTM2024開催に係る会則(案)について、両団体共催の学術大会で運用される参加登録・受付システムであるJJRS(日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同学術大会登録受付システム:JART-JSRT Joint meeting Registration System)運用に関する覚書(案)の最終的な確認、両団体学術大会における合同シンポジウムのテーマについて議論されました。

今後の両会のさらなる緊密な協力体制が期待されます。今回は2023年8月ごろ、JSRT事務局担当で開催予定です。

2022年度 第2回JART-JIRA懇談会 開催される (ハイブリッド開催)

2023年3月7日(火)、2022年度第2回JART-JIRA懇談会がベルサーール飯田橋駅前会議室で開催されました。JIRA(日本画像医療システム工業会)からは山本章雄会長をはじめ、稲葉潔業務執行理事、浜原公幸法規・安全部会長、鍵谷昭典経済部会長、大塚正明事務局長、横田則昭総務部長が、JARTからは上田克彦会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長〔Web出席〕、江藤芳浩副会長〔Web出席〕、江端清和業務執行理事、川守田龍理事、上島隆事務局長が出席しました。

会議では、JIRAより1)最近のJIRAの活動状況について、2)経済部会報告:経済部会におけるトピックス紹介、3)法規・安全部会報告:最近の医療機器規制の動向について、

それぞれの担当部長より報告されました。

JARTからは1)第38回日本診療放射線技師学術大会状況報告およびお礼について、2)第39回日本診療放射線技師学術大会ご協力をお願いについて、3)2024年度日本放射線医療技術学術大会開催について、4)告示研修の進捗状況について報告しました。

コロナ禍の中、ここ数年はWebで開催してきましたが、今回は一部のWeb参加者を除き対面形式で開催されました。JART-JIRAの懇談会は毎年開催されていますが、さらなる連携の強化について確認がなされ、和やかな雰囲気の中、閉会となりました。

2022年度 放射線治療分科会生涯教育 セミナー（治療計画：乳房編）開催報告

放射線治療分科会 久家 教幸（純真学園大学）

2023年2月18日（土）、純真学園大学（福岡市）において標記セミナーが開催されました。新型コロナウイルス感染症が拡大していた時期の申込期間にもかかわらず、全国から56人の参加がありました。

午前は、久留米大学病院放射線腫瘍センター 淡河恵津世先生より、医師の視点から見た乳癌の放射線治療について、特に「乳癌診療ガイドライン2022年版」の変更点を中心に、乳房再建術や粒子線治療などの最新情報も併せての講義となりました。次に、放射線治療分科会委員によるシミュレーション（マーキング、固定具作成方法および位置照合のポイントなど）に関する講義を展開しました。午後の前半は、診療放射線技師として理解しておくべき乳癌の治療計画の講義を行い、後半は実際の治療計画装置を使用して接線照射のプラン作成、Field in field法の設定方法などを詳しく実演しました。その後、施設におけるQ&Aということで、事前アンケートの集計結果の報告を行い、そのアンケートを基にした4つのテーマについて、アクティブラーニング方式を用いたフリーディスカッションを行いました。ディスカッションはとて



フリーディスカッションの様子

盛り上がり議論が白熱しました。最後に、事前アンケートに寄せられた質問についての情報提供を行いました。

本セミナー参加者をはじめ、お忙しい中、全てのプログラムにご参加いただき、多くの有益なアドバイスを頂いた淡河先生、講師を担当された放射線治療分科会委員の先生方、事務手続きなどをお手伝いいただいた日本診療放射線技師会の皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。

JARTISから領収書の発行が可能になりました！

会費、講習会、セミナー、学術大会の費用・参加費について、会員ご本人による領収書の発行が会員情報システム（JARTIS）から可能になりました。詳細は、会誌4月号20ページのお知らせをご参照ください。

INFORMATION

ICRP Publication 129 邦訳版の公開について

このたび原子力規制庁より、ICRP Publication 129 Radiological Protection in Cone Beam Computed Tomography (CBCT) の邦訳版（コーンビームCT (CBCT) における放射線防護）が完成し、ICRP ホームページ上で公開されました。日頃の業務にご活用ください。

詳細は下記Webでご確認ください。

- 原題：ICRP Publication 129 Radiological Protection in Cone Beam Computed Tomography (CBCT)

原文 URL (ICRP) はこちら→ <https://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication%20129>

邦訳版 URL (ICRP) はこちら→ <https://www.icrp.org/page.asp?id=506>

INFORMATION

令和4年度 近畿地域診療放射線技師会学術大会 【ハイブリッド開催(参加型+オンデマンド配信)】 近畿地域 業務改善推進委員会 関西☆collection (略してカン☆コレ) 開催報告

近畿地域代表 藤本 陽子

開催日時：2023年2月12日(日)

開催形式：参加型+オンデマンド配信(ハイブリッド形式)

会場：ピアザ淡海・大会議室(滋賀県)

テーマ：「働き方改革」～聞かしてもてかまいませんか?～

令和4年度 近畿地域診療放射線技師会学術大会が3年ぶりに参加型で開催され、その中で近畿地域業務改善推進委員会 関西☆collection(カン☆コレ)のイベントを開催致しました。

「働き方」の観点から、さまざまな「休暇取得」にクローズアップし、中でも「男性の育児休暇取得」と、今後、迎えることになるであろう「介護休暇取得」に的を絞りました。そこで男性診療放射線技師の育児休暇取得者2人と看護師の介護休暇取得者1人(診療放射線技師では介護休暇取得をした方がいなかったため)をお迎えし、パネルディスカッションを行いました。

事前に近畿地域各府県技師会を通じて経験者に聞いてみたいことを募集し、それを基にディスカッションを進めました。寄せられた質問はかなり多く「どのくらいの期間、どのような形式で取得したのか?」「休暇制度があることをどのように知ったのか?」など、かなり多くの方が休暇制度に関心を持たれていることが分かりました。男性育児休暇取得のパネリストからは「自分が育児休暇を取ったところ、それからどんどん取る人が増えた」と言われていて、やはりまだまだ言い出しにくいところがあるのではと感じました。男性育児休暇については法改正がなされ、2022年10月より施行されてい



ます。従業員への休暇制度についての説明が義務化されたことで、より多くの男性が育児休暇を取得するようになるのではと思います。「子供の成長に立ち会うことができ、育児休暇を取得できて本当によかった」と言われていたことがとても印象に残りました。介護休暇取得のパネリストからは、「周囲のスタッフからの休暇の勧め・協力があ、休暇の取り方やこのように取ればいいというアドバイスもあって、給与面なども変化なく取ることができた」「父を無事にみとることができてよかった」と言われていました。両者共に「事務手続きなど、休暇の取り方について事務方(総務課)が積極的に相談に乗ってくれた」と言われており、質問内容からも分かるように、現場の間は制度の内容を熟知しておらず、事務方(総務課)の協力も非常に大切であることがよく分かりました。

イベント終了後に取らせていただいたアンケートから、スタッフを除いて、来場されていたのは男性ばかりで圧倒的に管理者の方が多く、休暇を勧める側の立場の方の関心も高いことが感じられました。

「取得された方の意見はとても貴重であった」との感想を頂き、これから取得する人、また取得を勧める側にとって、良ききっかけとなるイベントになったのであれば幸いです。

今回、パネリストとしてご出演いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。今後も皆さまの「働き方」のヒントとなるイベントを開催していければと思います。



告示研修 開催報告

長野県

一般社団法人長野県診療放射線技師会 常務理事 前島 友和

2023年2月19日(日)、長野県としては6回目の告示研修(実技)を開催致しました。会場は、松本市の長野県看護協会会館を毎回お借りして開催しています。会館では、講義室と実習室を別々に借りることができるので、午前中のビデオ視聴中に効率よく実習会場の準備ができます。長野県は山が多く、県中心の松本市に移動するのに数時間かかる地域もあります。6回目となる今回、開催スタッフの負担を少しでも軽減するために、役割や居住地により集合時間の調整等をして効率化の検討を始めました。

毎回、40人程度の受講者数ですが、県外からの方が3割程度いらっしゃるのが現在の状況です。県外の都市部では混み合っていて受講が難しく、長野県の開催に申し込んでいるとお聞きしております。受講者の方は朝から夕方まで大変ですが、それに関わる開催スタッフも準備・実習指導・片付けと



相当な負担の中で頑張っております。これからも講師の先生方、会場スタッフ、受講者の皆さまと共に、全ての診療放射線技師の方々に受講していただけるよう、頑張っていきたいと思っております。

奈良県

公益社団法人奈良県診療放射線技師会 教育委員長 錦 一聡

奈良県では「令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修」を、2023年2月25日(土)と26日(日)の2日間、奈良県立医科大学で開催致しました。われわれスタッフも2回目のファシリテーターとしての実技指導ですが、開催場所が違うことと開催地が入学試験中であり、入出経路が制限されるという通常とは異なる制約もあり不安はありましたが、無事に開催・指導が行えたことに感銘を覚えました。

広報として、奈良県診療放射線技師会ホームページおよび会誌、奈良県会員へのインフォメーションメール告知を行

いました。受講申込開始日の1月6日時点で両日の申し込みはほとんど満席となりました。両日合わせて受講者数94人、修了証発行対象者数94人でした。

午前中は動画視聴、午後から実技研修を行いました。午前会場から午後会場へは、大学内を通過可能ならば5分程度で移動できるのですが、今回は左記の通り入学試験中のため大回りをしなければならず、受講者の方にはタイトなスケジュールとなってしまいました。

今回の実技研修を終えて、新型コロナウイルス感染拡大の



影響もある中、他県からの参加者もおられ、皆さまの職務に対する意識の高さに感銘を受けております。皆さまの熱意にお応えできるように今後も開催を予定しておりますので、よろしく願い申し上げます。

今回は、日本診療放射線技師会のホームページに掲載がなかったため、今後は日本診療放射線技師会ともさらに連絡を取り合い、広く呼び掛けができるようにさせていただきます。

きます。

今後も奈良県診療放射線技師会の活動を通じて、会員をはじめとした診療放射線技師の皆さまに貢献させていただければ幸いです。

最後になりましたが、本セミナー開催のためにご尽力いただきました教育委員、講師の皆さま、JART事務局の皆さまに感謝を申し上げ、本実技研修の開催報告とさせていただきます。

佐賀県

一般社団法人佐賀県放射線技師会 理事 馬場 笑伊

2023年2月25日(土)・26日(日)、国立病院機構佐賀病院において、本会として第3回と第4回の告示研修(実技)を開催致しました。今回は県外からも多くの参加がありました。

第1、2回開催の時は、研修自体は大きな問題もなく終了しましたが、講師の調整に時間がかかったり、購入物品の不足があったりと改善点や反省点などの課題が残りました。その反省を踏まえて、今回は、前日の会場設営の時間短縮や配置の変更、また施設スタッフのご協力もあり、片付けや撤収の早めの対応などで効率的に作業ができました。回数を重ねたことにより、ファシリテーターやスタッフにも自信がついたように思います。

また告示研修を受講する佐賀県放射線技師会会員に対しては、受講費を助成し、受講の促進を促しております。今後も、多くの方が受講できるように佐賀県での開催回数を確保していきたいと思っております。最後に、この場をお借りして、講師の先生方をはじめ、会場を提供していただいたご施設(国立病院機構佐賀病院)とスタッフの皆さま、そして受講者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。



診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定:

茨城 5月14日(日)

秋田 5月21日(日)

埼玉 5月28日(日)

千葉 5月28日(日)

第7回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

実行委員 木山 量平

(一般社団法人熊本県放射線技師会 会員)

熊本市電で巡る観光スポット

これまで熊本県の観光地を紹介させていただきましたが、今回の熊本への道 Go To KUMAMOTOでは、熊本市内の観光地とともに市街地を走る熊本市電について紹介させていただきます。

熊本市電は、大正時代に開通した熊本市街地を運行する路面電車で、市民の公共交通機関であると同時に、市内の主要観光スポットへの交通手段としても大変便利です。熊本駅前にも停留所がありますので、新幹線で来熊される参加者の方は、熊本市電に乗りいただき^{からしまちよう}辛島町停留所で降車していただくと、会場である熊本城ホールは目の前です。ぜひご利用ください。

“空き時間に熊本城以外の観光地にも”という方は、水前寺公園停留所からすぐの^{すいぜんじじょうじゆえん}水前寺成趣園がお薦めです。阿蘇の伏流水が静かに湧き出る池を中心に、緑に囲まれた園内を一周できる桃山様式の優美な回遊式園庭が広がっており、熊本市街地の近くにありながら心身共にリフレッシュすることができるスポットです。

“麦わらの一味と一緒に写真を撮りたい”という方は、市立体育館前停留所から徒歩10分ほどの熊本県庁へ行っていただくと、イチョウ並木のブロムナードに立つ^{ルフィ像}ルフィ像に会うことができます。また動植物園入口停留所から徒歩10分の熊本市動植物園正門前には、地震で精神的にも大きく傷ついた動物たちのケアを行うために駆け付けてくれた^{チョッパー像}チョッパー像が設置してあります。熊本市内に設置してある船長と船医には熊本市電を利用して会いに行けますので、お時間のある方はぜひ足を運んでみてください。

利用するだけでなく、景色の一つとしても楽しめるのが熊本市電。繁華街の中心「^{とおりちようすじ}通町筋の交差点」からは、通りを行き交う人々とレトロな熊本市電、そしてそれら城下町を見守る熊本城を同時に眺めることができるお薦めの場所です。夜には熊本城がライトアップされていますので、熊本のおいしいお酒と食事とともに、繁華街から見上げる熊本の景色も楽しんでいただけたらと思います。

新型コロナウイルスの影響に悩まされる昨今ですが、参加者の皆さまにとって有意義な学会となるよう、また熊本への旅を楽しんでいただけるよう、実行委員一同準備をしております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



熊本駅前停留所



熊本市電と熊本城 (通町筋交差点より)



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場	熊本城ホール	会長	上田 克彦
	[ハイブリッド開催]		[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]
	〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40	大会長	西小野 昭人
			[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催	公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催	一般社団法人 熊本県放射線技師会
後援 (予定)	厚生労働省/日本放射線技術学会 熊本県/熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる

技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

心・技・体



「心・技・体」——ある書物にはこのように書かれている。

「心」…志、精神力、心の強さ、使命、構想、価値観

「技」…技術、スキル、コミュニケーション

「体」…身体能力、取り組みの姿勢、あいさつ、返事、掃除

WBC 2023 (World Baseball Classic 2023) の瞬間最大視聴率46%の感動と熱狂に渦巻く環境下でこの記事を書いている。2人に1人が見ていたことになるが、この記事が公開される時、この熱狂はすでに冷めていることが容易に想像できるほど、日々の変化は目まぐるしい。

かつて企業の寿命は30年といわれたが、2013年に行われた調査では倒産した企業の「平均寿命」は23.6年であった。コロナ禍を経験した2022年の調査でも23.3年と大きな変化は見られない。そんな中、三重県伊勢の名物として知られる「赤福」は1707年の創業から300年以上の歴史を持っているが、同じ名称のまま、昔と今では味が全く違うという。かつては「甘い=ぜいたく品」だったため、甘さの引き立つ製法で作られていたが、現代社会では甘過ぎる和菓子は敬遠されがちのため、控えめな甘さに“進化”しながら顧客のニーズを捉えている。“変われない組織は淘汰され、伝統を守りながらもお客さまを最重要視する経営方針”が結果につながっているという。変えては

ならない志「心」と取り組む姿勢「体」、日々変化する技術を取り入れる柔軟な「技」がある。

われわれの知識や技術は誰のためにあるのか、どのような心構えで使うべきか。世の中が必要としているものをリサーチして想像し、創造し適応しなければその個や集団は世の中から淘汰されるであろう。1947年に発足した本会は、社会情勢の変化に対応しながら発展し続けてきたが、自己満足的に変化してはならない。世の中のニーズや今後必要であろう事象に目を向け“変えるべき点と守るべき点”を見据え、診療放射線技師一人一人の先には、患者さんや多くのカスタマー（患者の家族、共に働く他職種、医療メーカーなどの関わる全て）がいることを常に意識して、良い“進化”をしていかなければならない。本会は会員へのメリットは重要だが、自己のためだけでなく、カスタマーから必要と感じていただく活動が必要である。

「心・技・体」三位一体ぶれない軸を保ちつつ、皆さまの協力の下、たゆまぬ努力を続けていきたい。技術や知識を十分に発揮するために「体」を整え、自身の健康管理には気を付けたいと考える今日この頃——まずは、自身の机の上を片付ける必要がある。

(文責：川守田 龍)

5月・6月の講習会などスケジュールのご案内

- 放射線治療分科会生涯教育セミナー(治療計画・乳房編)： 沖縄 2023年6月10日(土)
- モニタ精度管理セミナー： 東京 2023年6月17日(土)
- 画像等手術支援認定診療放射線技師資格試験： 北海道・宮城・東京・埼玉・愛知・滋賀・広島・福岡 2023年6月18日(日)
- 消化管造影セミナー： Web開催 2023年6月28日(水)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

【e-ラーニング(ストリーミング方式)】

- | | |
|---|---|
| ■ 告示研修(基礎研修) | 2021年7月31日(土)午前0時から2026年3月31日(火)午後11時59分まで
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー | 2022年11月21日(月)午前0時から2027年3月31日(水)午後11時59分まで
※配信を再開しました。
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 認定資格失効者講習会(在宅) | 2023年5月10日(水)午前0時から12月22日(金)午後11時59分まで
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅) | 2023年5月15日(月)午前0時から12月22日(金)午後11時59分まで
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。 |
| ■ オンラインセミナー(在宅)・ラダーレベル1、2
・マネジメントラダーレベル3 | 2023年5月15日(月)午前0時から12月22日(金)午後11時59分まで
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。 |

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。